

個人投資家さま向け会社説明会

2026年8月26日

1	信金中金/信用金庫の概要	3
2	信金中金の優先出資証券とは？	10
3	信金中金グループの戦略と取組み	26
4	よくいただくご質問	45
	Appendix	55

1. 信金中金／信用金庫の概要



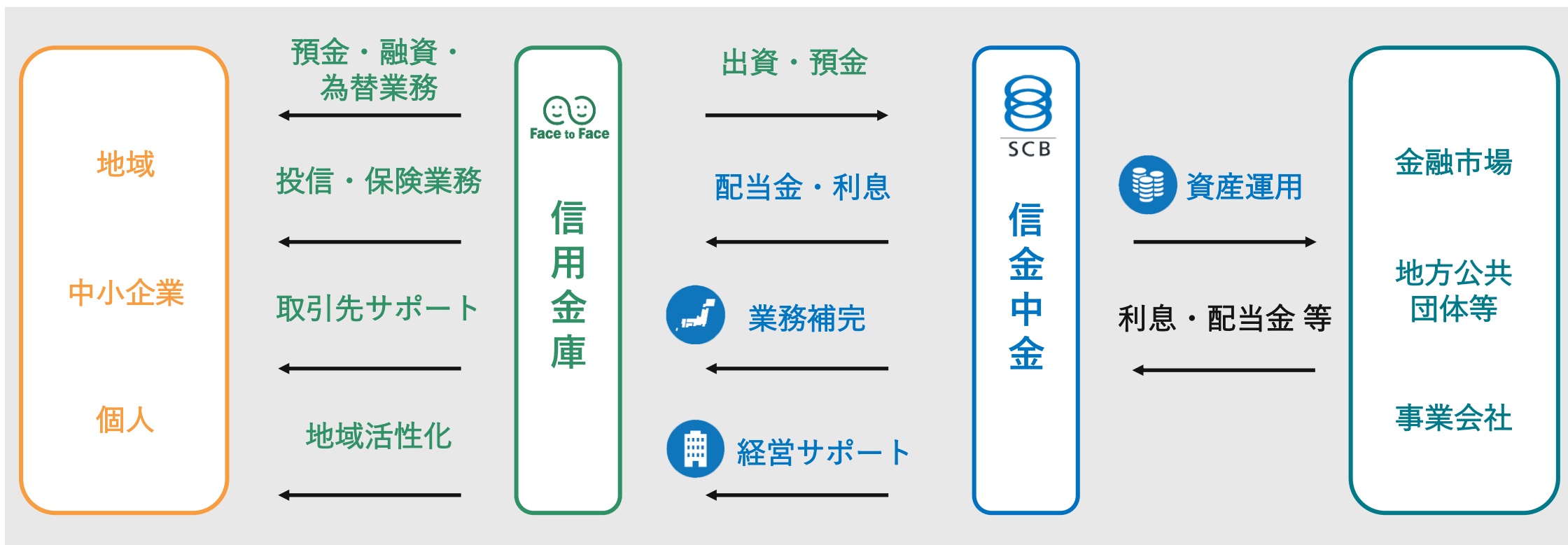
地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ

経営理念

-Philosophy-

信用金庫の中央金融機関として、
信用金庫業界の発展につとめ、
もってわが国経済社会の繁栄に貢献する。

信金中金とは？



持続可能な社会を実現する機能

中小企業、個人、地域社会の抱える課題に対して、信用金庫と連携し適切なソリューションを提供



信用金庫のセントラルバンク機能

信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて経営をサポート



機関投資家・コーポレートファイナンス機能

全国の信用金庫からの預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用

1950年

信用金庫の出資により創立

2000年

信金中央金庫（略称：信金中金）に名称変更
東京証券取引所に優先出資証券を上場

2025年

『SCBストラテジー2025』開始



（2026年3月末）

優先出資価格

192,000円

※2026年8月21日時点

1口当たり配当金

6,500円

総資産（連結）

46兆円

拠点数 国内：13店舗
 海外：6 拠点

※2026年7月末時点

常勤役職員数
1,324名

資金量

30兆円

貸出金量

12兆円

親会社株主に

帰属する当期純利益 430億円

自己資本比率（連結）

21.95%

資金量ランキング

	金融機関名	資金量 (兆円)
1	三菱UFJ銀行	212
2	ゆうちょ銀行	186
3	三井住友銀行	171
4	みずほ銀行	160
5	三井住友信託銀行	95
6	三菱UFJ信託銀行	68
7	農林中央金庫	55
8	りそな銀行	49
9	みずほ信託銀行	33
10	信金中央金庫	30

	金融機関名	資金量 (兆円)
11	横浜銀行	18
12	埼玉りそな銀行	17
13	千葉銀行	16
14	福岡銀行	13
15	SBI新生銀行	13
16	楽天銀行	12
17	静岡銀行	12
18	北洋銀行	11
19	住信SBIネット銀行	11
20	常陽銀行	10

(注) 2026年3月末時点、資金量には海外店舗分を含む
(出所) 2026年7月10日付ニッキン

- 信用金庫は、相互扶助を基本理念とした協同組織の金融機関
- 事業内容は銀行と大きな違いはないが、事業地区が限定されており、地域住民や中小企業を会員（出資者/利用者）としているため、地域社会の利益を最優先に考える“地域の、地域による、地域のための金融機関”

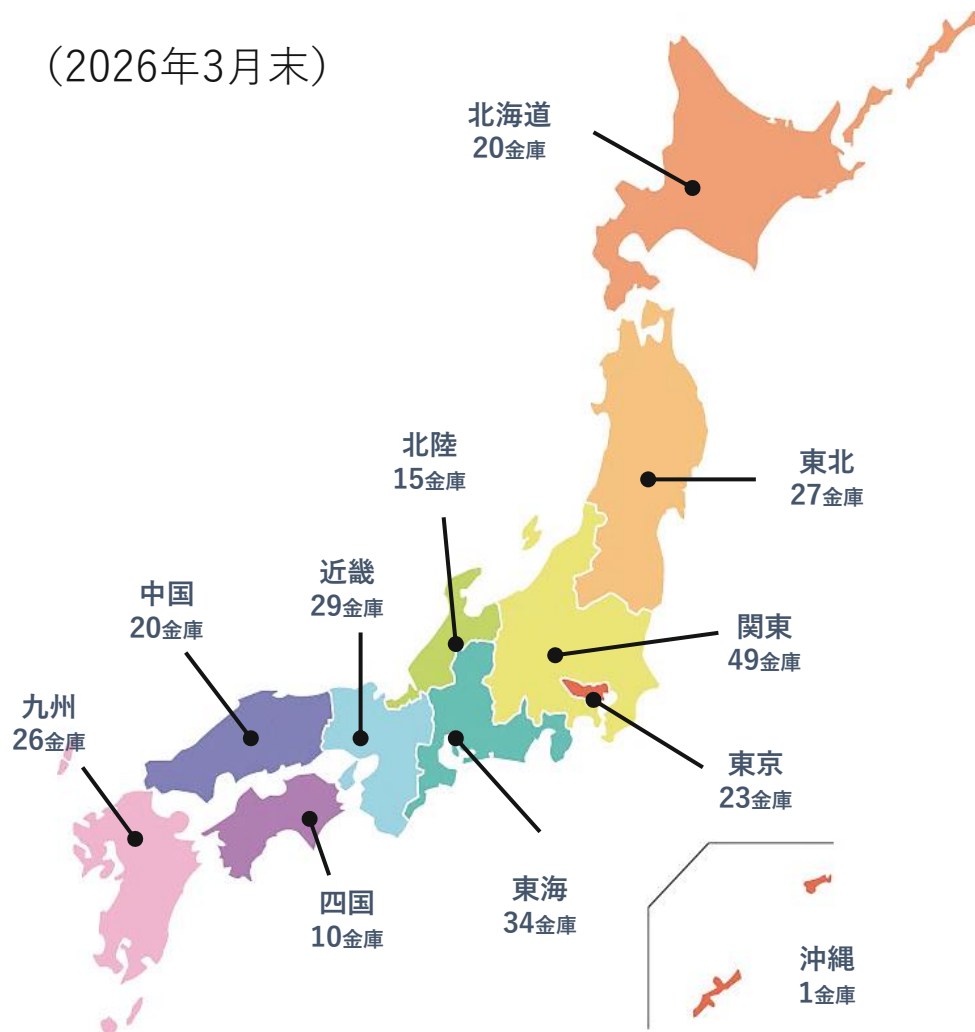
信用金庫と銀行の違い

	信用金庫	銀行
事業内容	預金・融資・為替業務、投資信託・保険の窓販など	
事業地区	一定の地域に限定	制限なし
組織形態	協同組織（非営利）	株式会社（営利）
会員資格	個人・中小企業*	なし
貸 出	原則、会員が対象	制限なし
預 金	制限なし	

* 従業員300人以下または資本金9億円以下の事業者

全国の信用金庫ネットワーク

(2026年3月末)



～数字で見る信用金庫～

(2026年3月末)

預金量

161兆円

貸出金量

82兆円

拠点数

254金庫/7,054店舗

役職員数

9.5万人

2. 信金中金の優先出資証券とは？

優先出資証券とは

協同組織金融機関が自己資本の充実をはかるために、会員（信用金庫）からの普通出資のほかに、会員外からも出資を募るために発行する有価証券です。



証券コードは「8421」で一般の株式と同じように、証券会社を通じて売買することができます。

出資者

信金中金の優先出資証券

証券口座を開設している
個人・法人

議決権

なし

その他

- ・ 普通出資証券よりも優先的に配当を受けられる権利を有する
- ・ 1口から購入可能

1

安定した財務内容

2

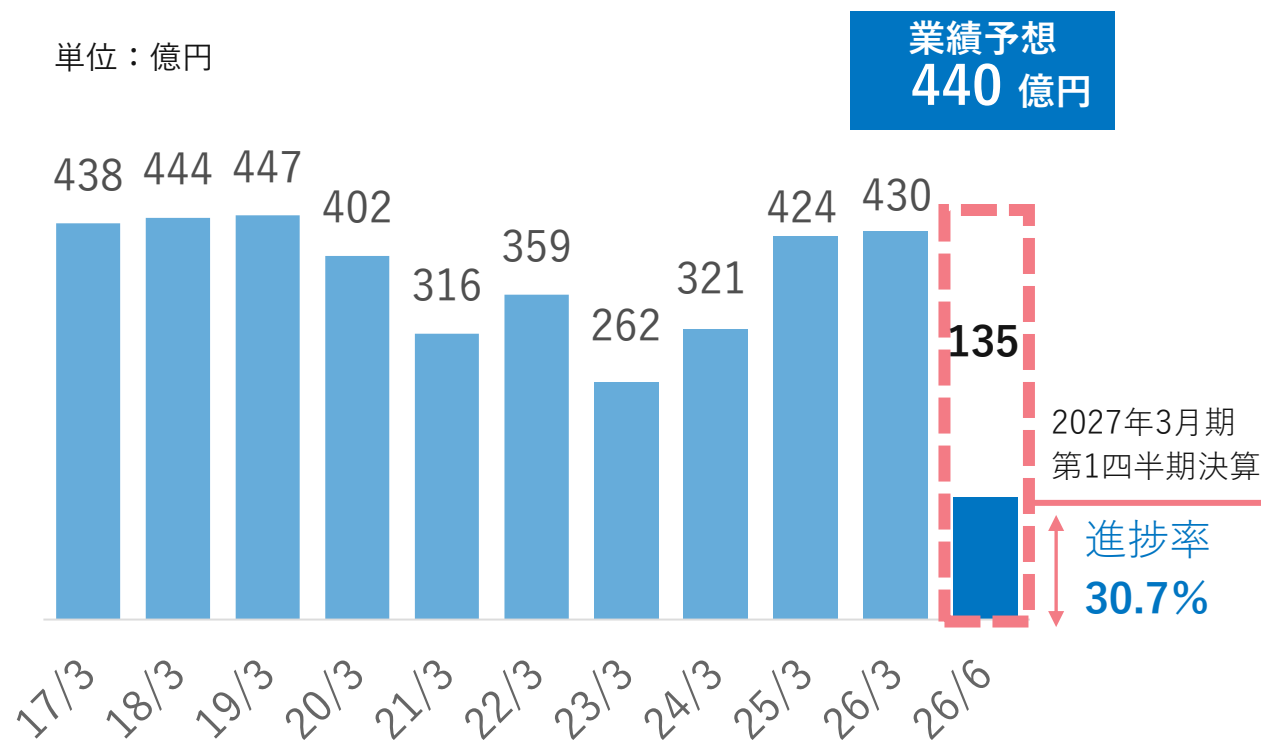
配当・充実した優待商品

ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 2027年3月期 第1四半期決算における年度業績予想の進捗率は30.7%
- ◆ 自己資本比率は20%台を維持しており、引き続き堅固な財務基盤を維持

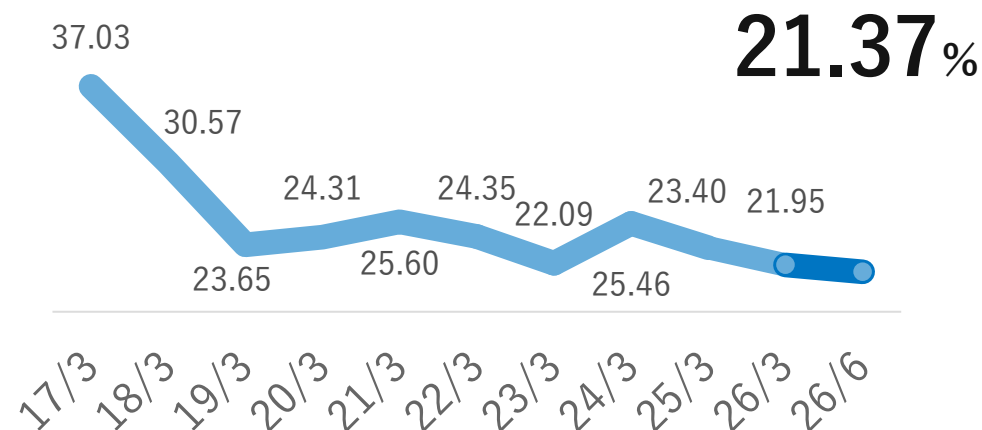
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：億円



連結自己資本比率(国内基準)

単位：%



参考：業態別比較（単体）（2025年9月末）

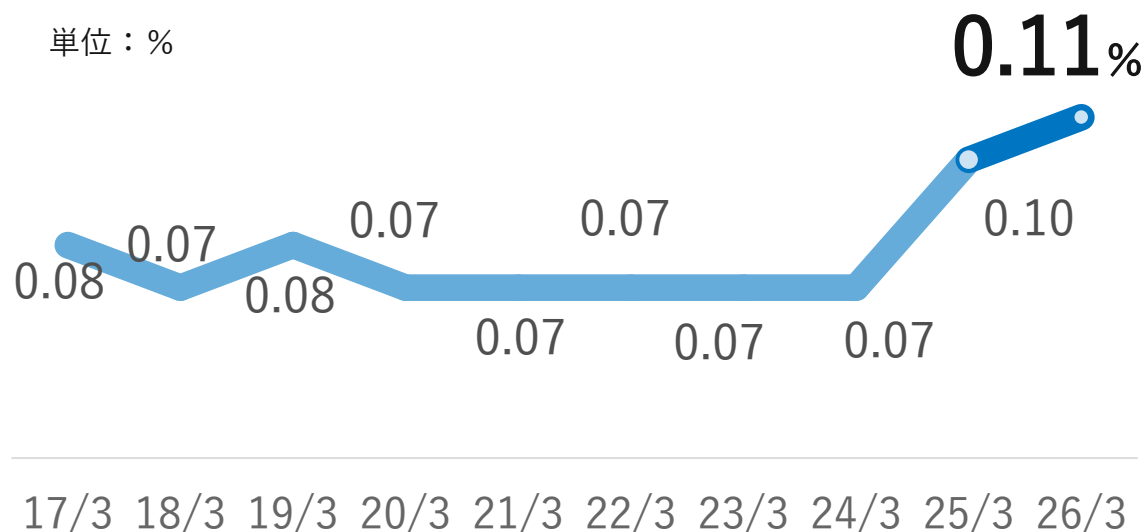
- ・信金中金：24.59%
- ・都市銀行：16.34%
- ・地方銀行：10.42%

（注）都市銀行は5行、地方銀行は国内基準行(52行)の平均
（出所）各行決算資料、（一社）全国地方銀行協会

ポイント① 安定した財務内容

◆ 経費率、不良債権比率ともに低水準で推移し、引き続き高い健全性を確保

経費率（単体）



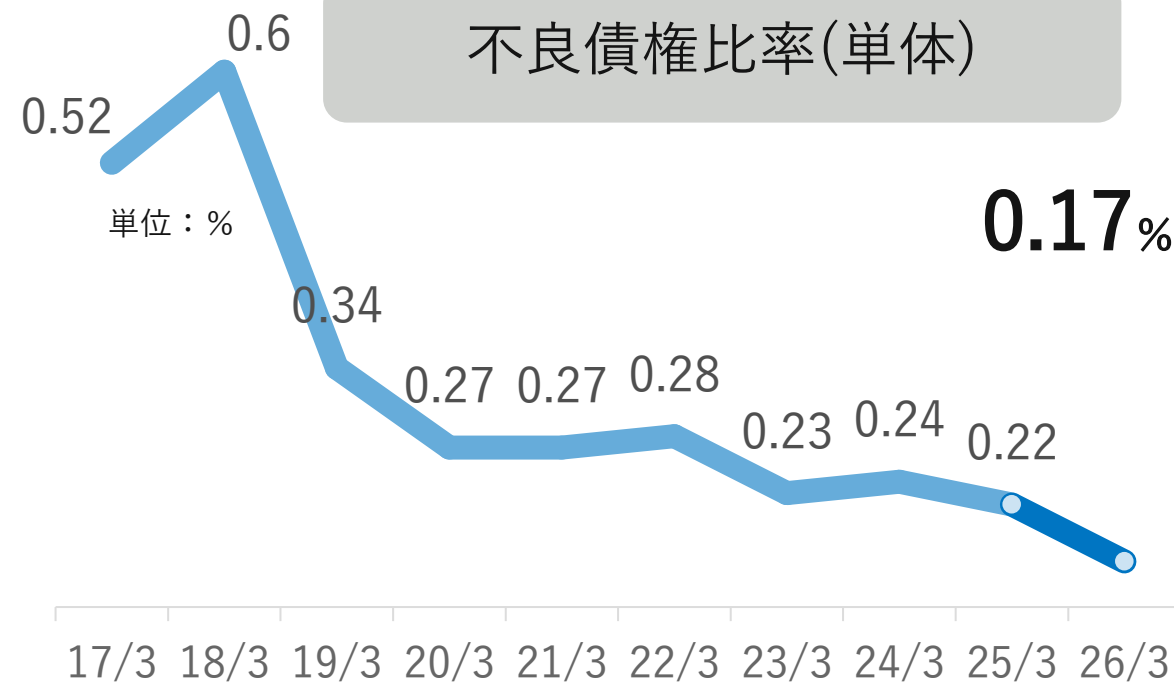
参考：業態別比較(単体) (2025年9月末)

- ・ 信金中金：0.10%
- ・ 都市銀行：0.49%
- ・ 地方銀行：0.68%

(注) 経費率＝経費／預金等平残

(出所) (一社) 全国銀行協会 「全国銀行財務諸表分析」

不良債権比率(単体)



参考：業態別比較（単体）（2025年9月末）

- ・ 信金中金：0.24%
- ・ 都市銀行：0.62%
- ・ 地方銀行：1.51%

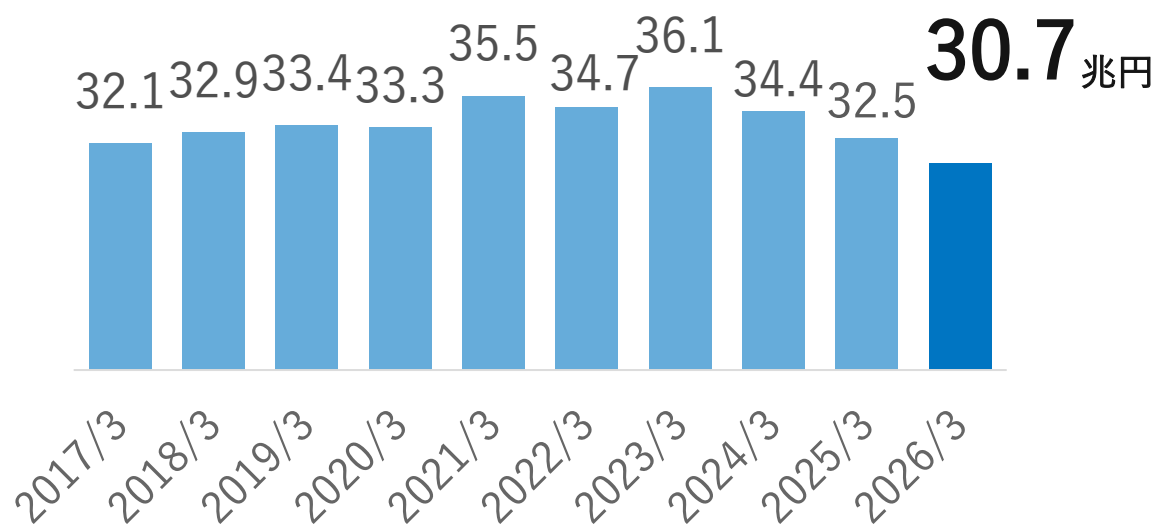
(注) 不良債権比率＝金融再生法開示債権／総与信残高

(出所) (一社) 全国銀行協会 「全国銀行財務諸表分析」

ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 信用金庫の預金を中心とした安定的な資金調達により、豊富な資金量を確保
- ◆ 高い安定性や健全性を背景に国内金融機関の中でもトップクラスの格付を獲得

資金量（単体）



格付の状況

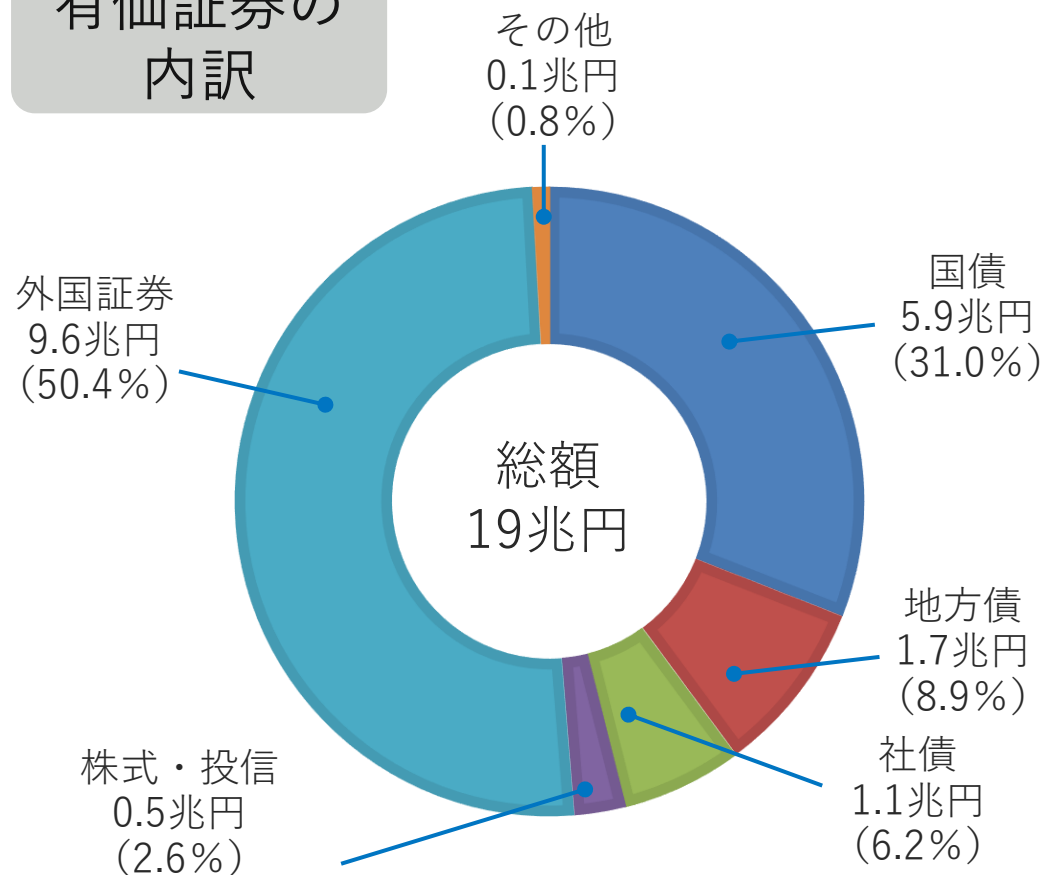
（2026年6月末）

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	ポジティブ	—
日本格付研究所	AA	安定的	—

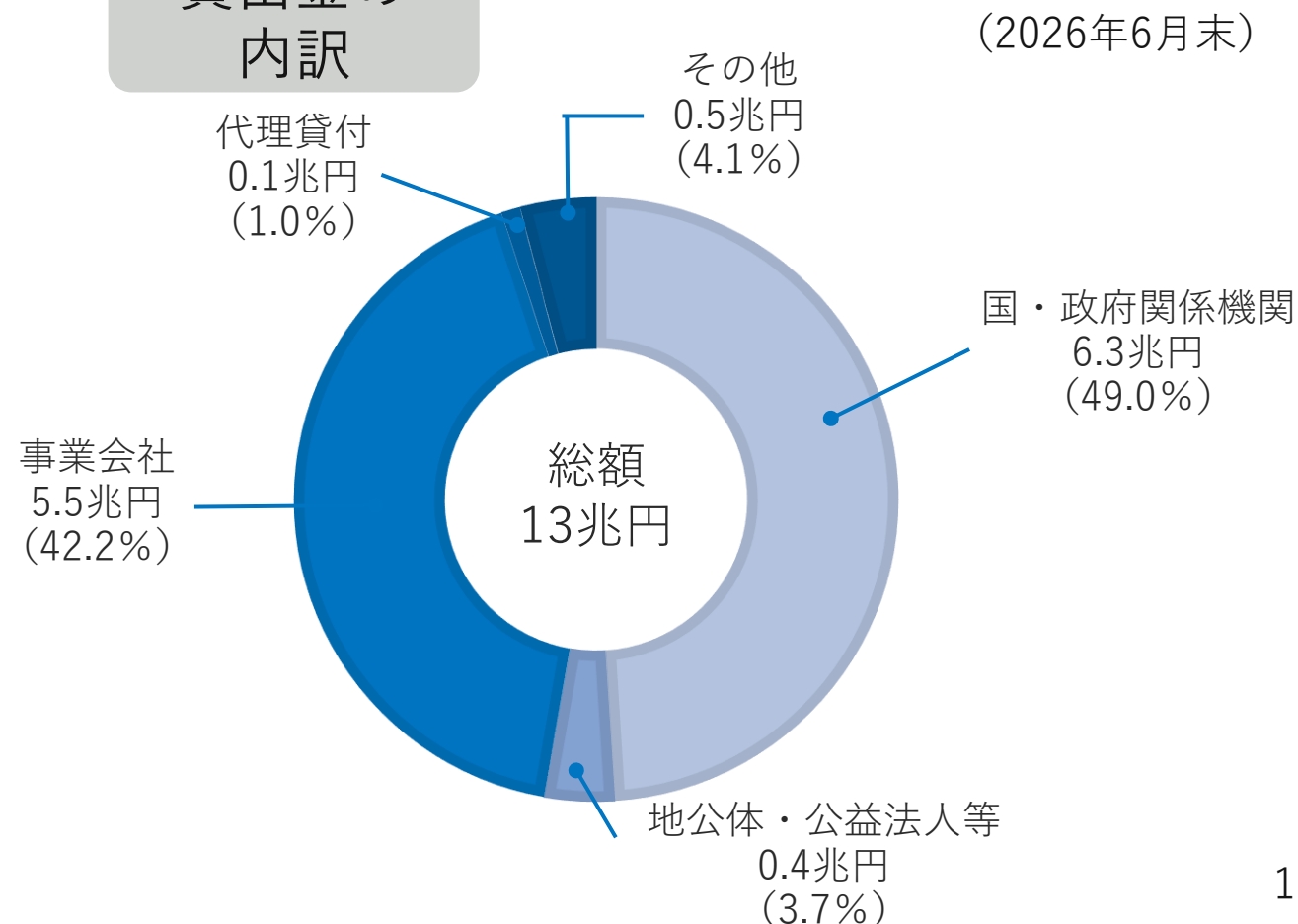
ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 有価証券運用の4割が国債・地方債
- ◆ 貸出金は、上場企業を中心とした事業会社および国・政府関係機関が大半

有価証券の内訳



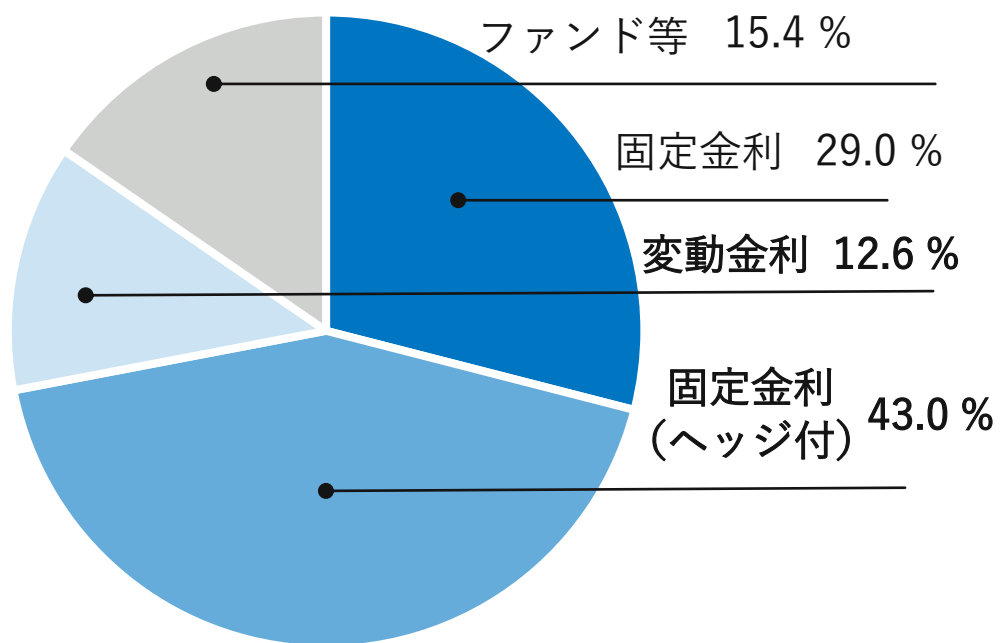
貸出金の内訳



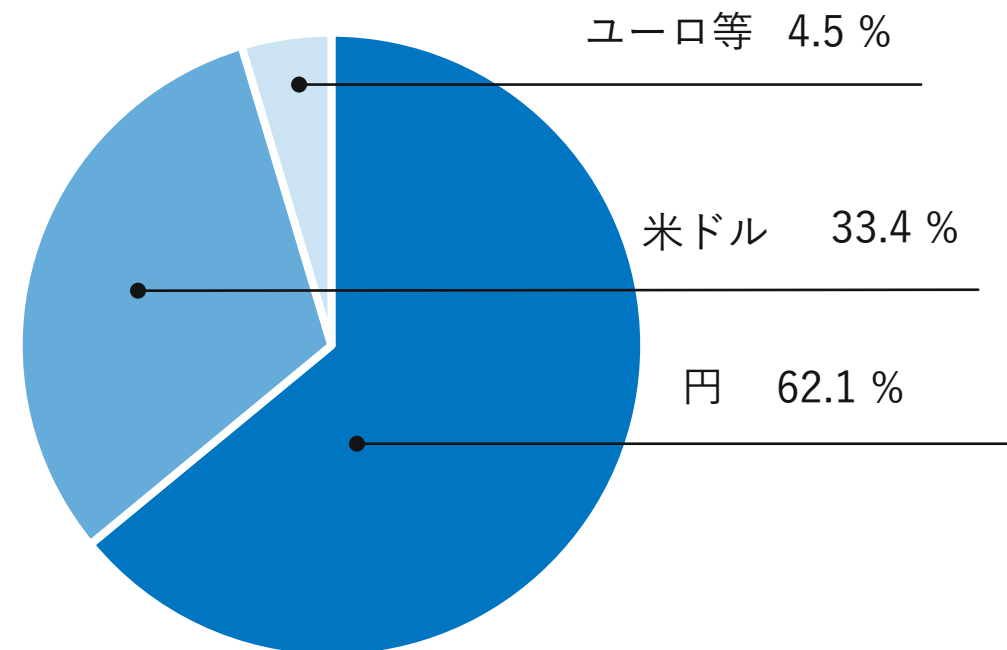
ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 実質変動金利の有価証券が過半を占める
- ◆ 円以外の通貨にも分散投資を実施

有価証券の金利別の内訳



有価証券の通貨別の内訳

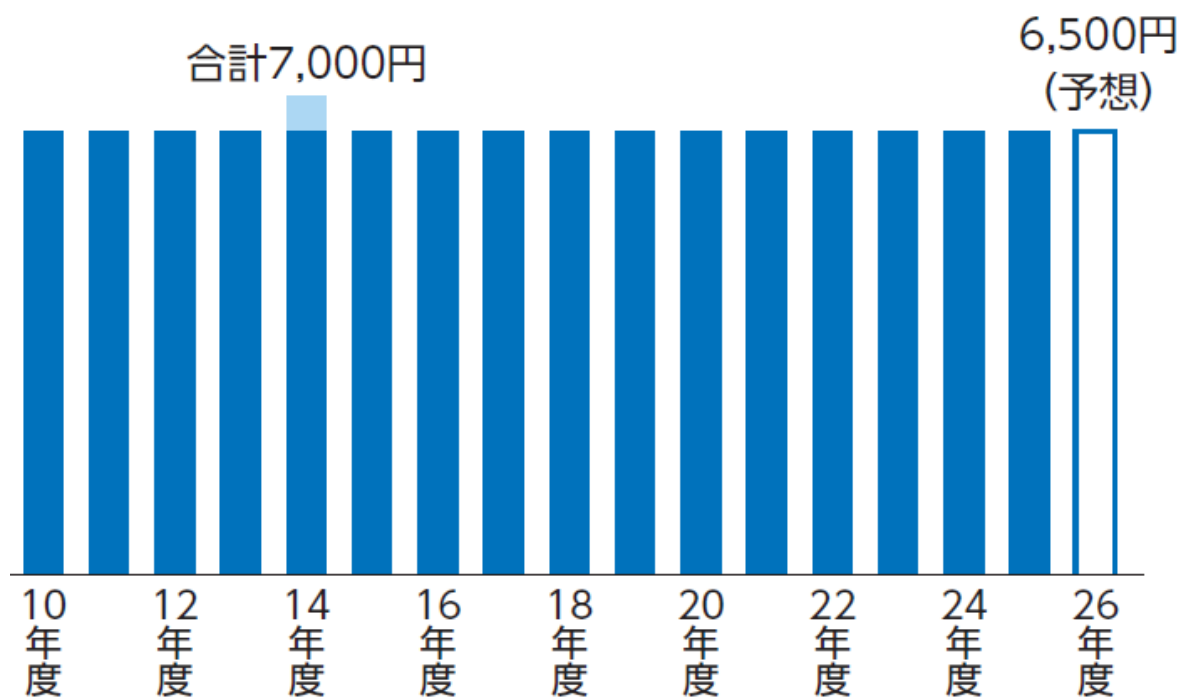


ポイント② 配当・充実した優待商品

- ◆ 年に1回、3月末を権利確定日として安定的な配当を実施
- ◆ 3月末・9月末を権利確定日として優待制度を実施

配当金推移

■ 一口当たり配当金 ■ 特別配当



配当利回り※

3.38 %

優待込み配当利回り※

4.42 %

※2026年8月21日時点。

※優待込み配当利回りは、1口あたり1,000円相当の優待および（1年以上の継続保有した場合による）QUOカード1,000円分を加味した利回り

ポイント② 配当・充実した優待商品

- ◆ 保有口数に応じて、オリジナルグッズまたはグルメカタログを贈呈
- ◆ 全国の信用金庫取引先グルメで地域の中小企業を応援することが可能



優待商品に対する満足度は、約80%と高い評価を受けています🔔

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1・2口 | 1,000円相当の優先出資者限定オリジナルグッズ |
| 3～9口 | 3,000円相当のグルメカタログから1つ選択 |
| 10口以上 | 6,000円相当のグルメカタログから1つ選択 |

優先出資者限定オリジナルグッズ(1,000円相当)

調味料各100ml×3本セット



グルメカタログ

3,000円相当のグルメカタログ



6,000円相当のグルメカタログ



※ グルメカタログでは、全国特産品に代えて寄付を選択することも可能

グルメカタログ商品のご紹介（3～9口/2025年度の人気商品一例）

オリーブ牛切り落とし



林檎倶楽部
1,000 ml × 5 本入



浜松餃子 84個



グルメカタログ
(2025年度) はこちら▶



うなぎ蒲焼2尾入
ギフトセット



しんきん牛すき焼きセット



松阪牛100%ハンバーグ



グルメカタログ
(2025年度) はこちら▶



ポイント② 配当・充実した優待商品

- ◆ 投資魅力を高めるため、2025年10月に優待制度拡充を決定
- ◆ 1年以上継続保有する優先出資者を対象に保有口数に応じてQUOカードを贈呈

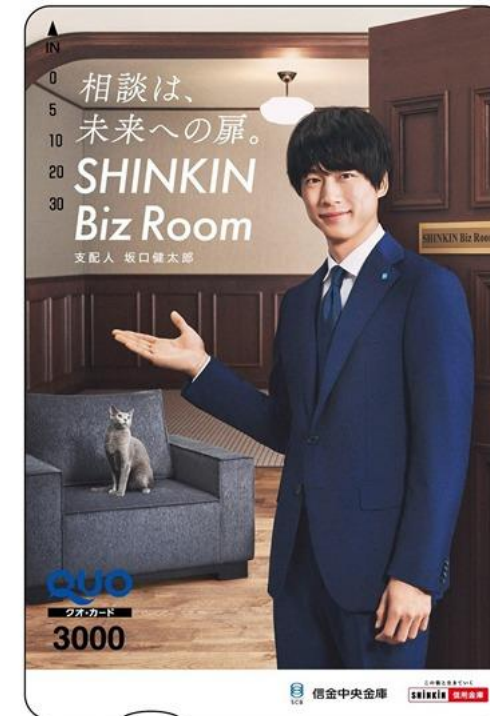
1口以上3口未満
1,000円分



3口以上10口未満
3,000円分



10口以上
6,000円分



※優待品の郵送は、6月下旬頃、優先出資者名簿記載のご住所へお送りします

3,000円分を2枚贈呈

Webムービー「SHINKIN Biz Room」

俳優の坂口健太郎さんを起用したWebムービー「SHINKIN Biz Room」を公開中
SHINKIN Biz Roomの支配人となった坂口さんが、経営者の様々なお悩みに寄り添い、
信金中金のソリューションを駆使して解決に導きます。



SHINKIN Biz Room
特設サイト



- 信金中金の資本金は会員信用金庫からの普通出資と市場調達による優先出資により構成
- 「信用金庫の中央金融機関」「協同組織金融機関」「上場企業」という固有特性を踏まえ、資本の有効活用と安定的な利益還元を実施

「利益配分に関する基本方針」の改定 【2026年5月20日公表】

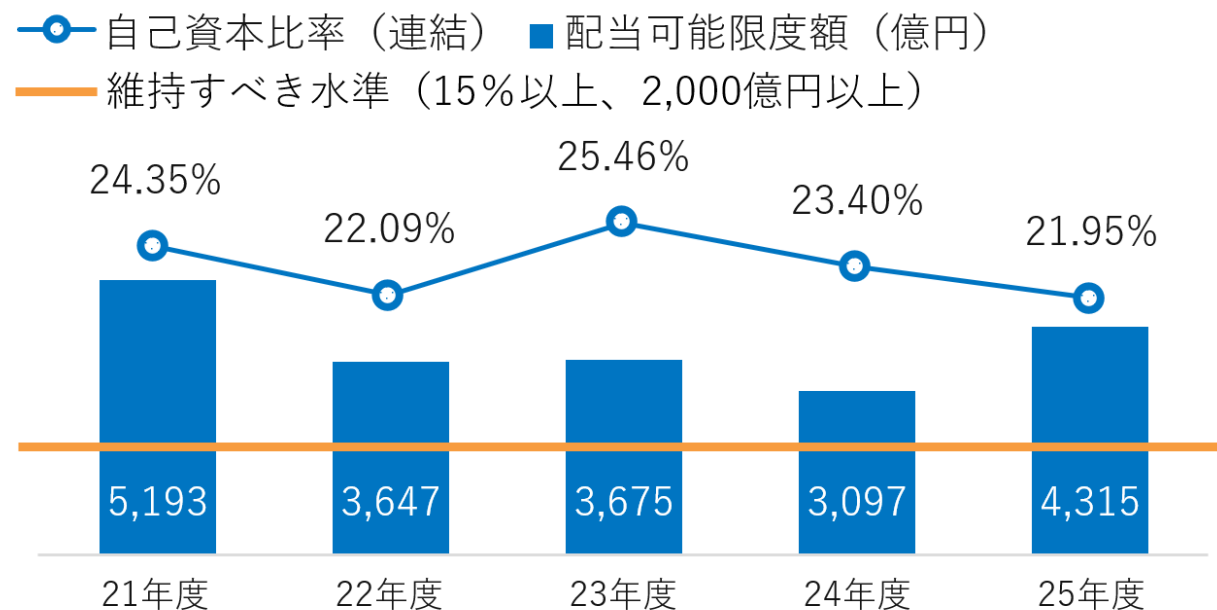
改定後

信用金庫の中央金融機関としての持続的な企業価値向上を実現する観点から、「内部留保の充実により、健全性を維持しつつ成長投資に資本を戦略的に活用する」とともに、「安定配当を基本とする出資者への利益還元を行う」こととする。

従来

健全経営の確保の観点から内部留保の充実につとめつつ、将来にわたり安定的な配当を実施する。

健全性指標



- 取得口数10,000口、取得総額10億円を上限とする自己優先出資の一部取得・消却を実施
- 優先出資に対する予想配当金と自己優先出資の一部取得を合計した利益還元額は56億円

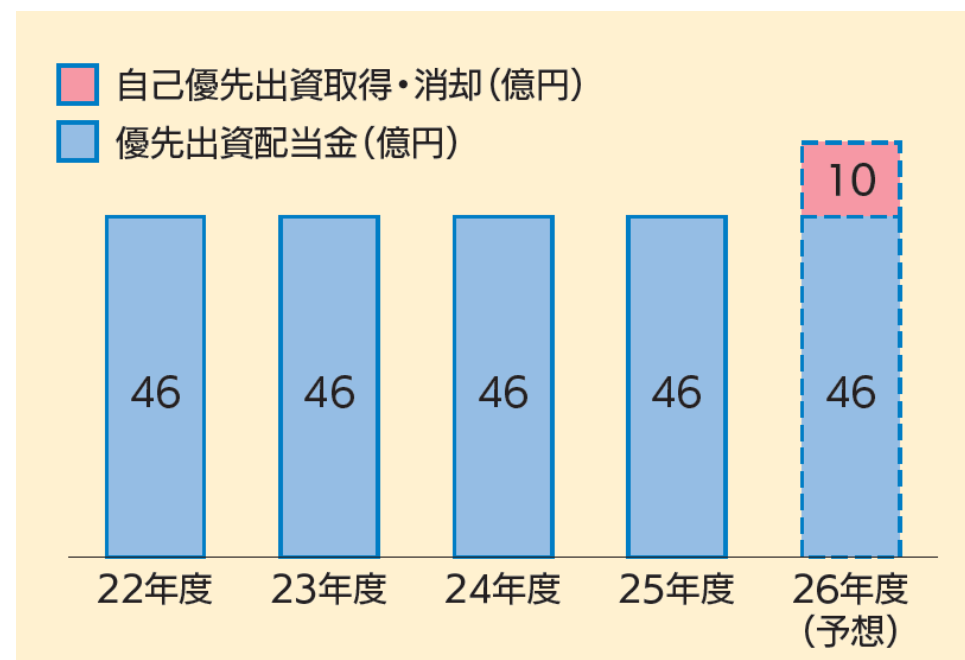
利益還元の拡充

自己優先出資の一部取得・消却

【2026年5月20日公表】

取得し得る総数	10,000口（上限） （発行済総口数の1.4%）
取得価額の総額	10億円（上限）
取得期間	2026年7月30日～ 2027年1月29日
消却する優先出資総数	取得した自己優先出資の全口数

優先出資者還元額 推移

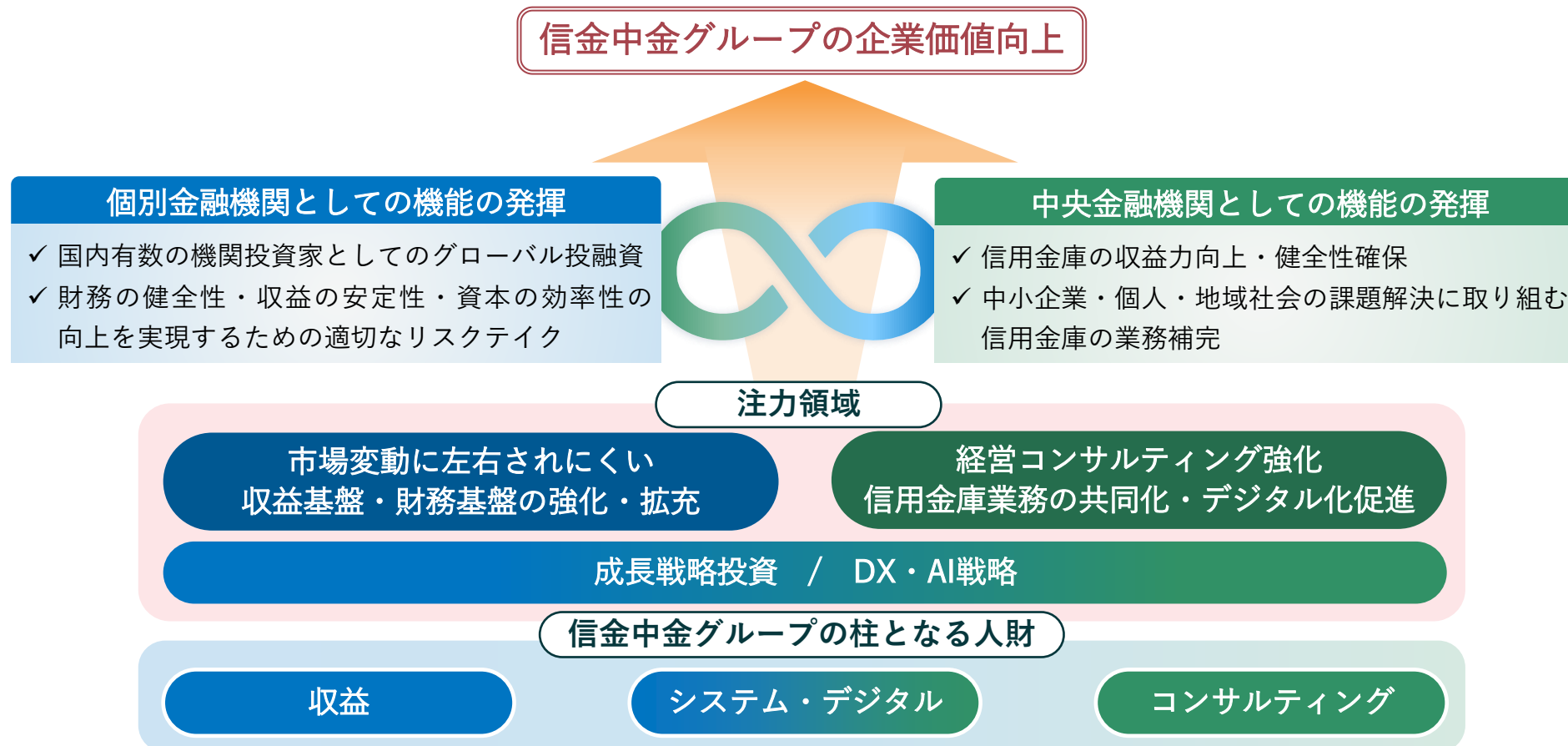


3. 信金中金グループの戦略と取組み

持続的な企業価値向上を実現するためのアプローチ

- 信用金庫業界の成長を促進する「信用金庫の中央金融機関としての機能」とグローバル投融資等を通じて収益力強化に取り組む「個別金融機関としての機能」を最大限に発揮することにより、ステークホルダーの期待に応え、信金中金グループの持続的な企業価値向上を実現
- 中期経営計画『SCB戦略2025』の計画期間（2025～2027年度）においては、「市場変動に左右されにくい収益基盤・財務基盤の強化・拡充」等に注力し、経営資源を優先的に配分

企業価値向上を実現するためのアプローチ



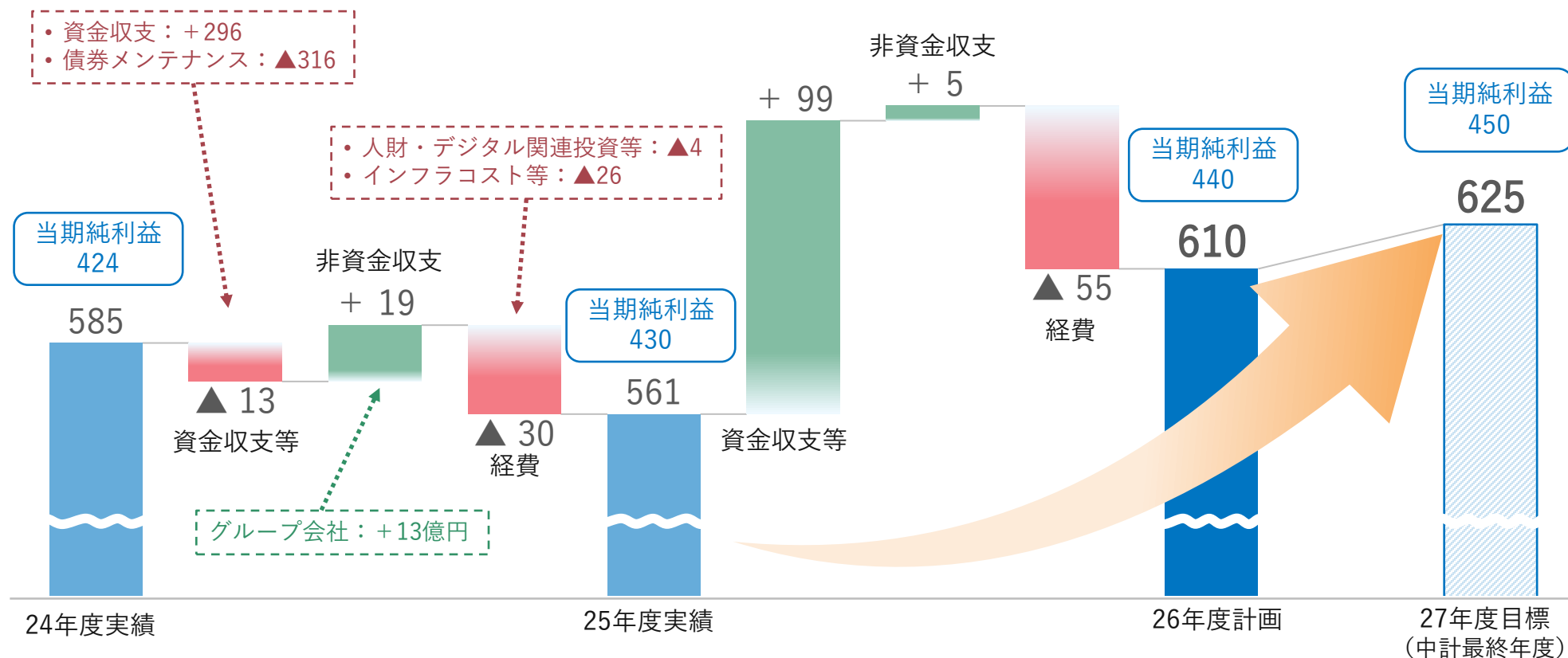
収益基盤・財務基盤の強化・拡充（サマリー）

■ 26年度計画および中期経営計画における目標収益水準の達成に向けて、以下の取組みを推進

- 資金収支等：貸出金（事業法人向け融資、プロジェクト金融等）およびオルタナティブ投資等の取組強化
- 非資金収支：グループ会社による質の高いソリューション提供等を通じた安定的な収益確保
- 経費：規律ある支出を前提としたグループ機能強化に資する人財・デジタル関連等への投資

経常利益の増減要因および増減見通し（連結）

（億円）



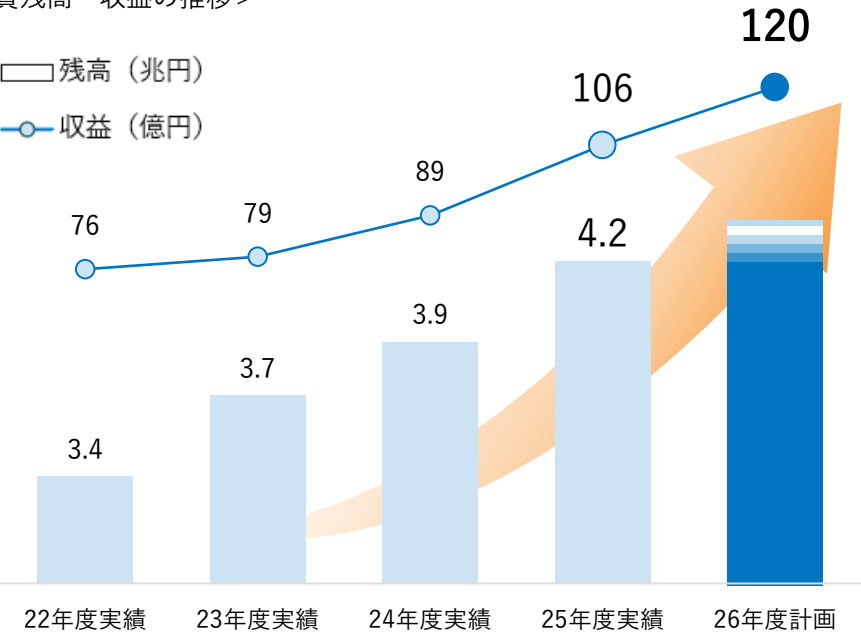
- 市場変動に左右されにくい収益基盤を構築するため、事業法人向け融資およびプロジェクト金融への取組みを強化
- 貸出金収益は着実に伸長しており、2030年度までに250億円※（2025年度比+65%）を上回る収益獲得を目指す

※ 管理会計ベース（事業法人、プロジェクト金融、公共・金融法人等の合計）

事業法人向け融資

- ・国内有数の資金力を有する強みを活かし、取引先とのリレーション強化を通じて、持続的かつ安定的な収益基盤を構築
- ・首都圏を中心に未取引先への営業を強化し、取引先の拡充に注力

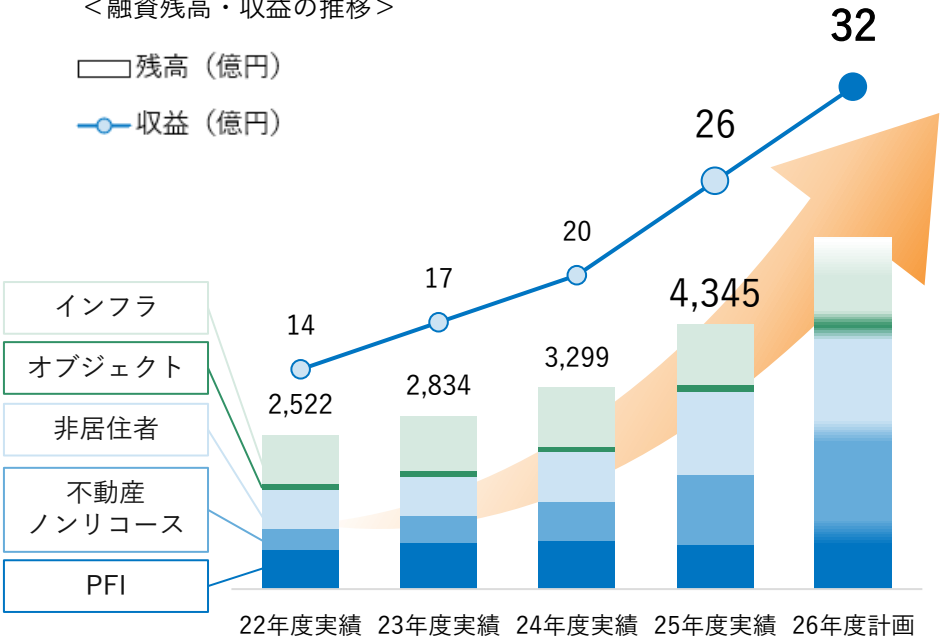
< 融資残高・収益の推移 >



プロジェクト金融

- ・市場動向や収益性等を勘案し、各プロダクトへの投資をバランスよく拡大
- ・海外案件や新規領域等への投資拡大も検討

< 融資残高・収益の推移 >



戦略的人員配置

- ・キャリア採用を含む戦略的な人員配置を通じて、推進態勢を強化

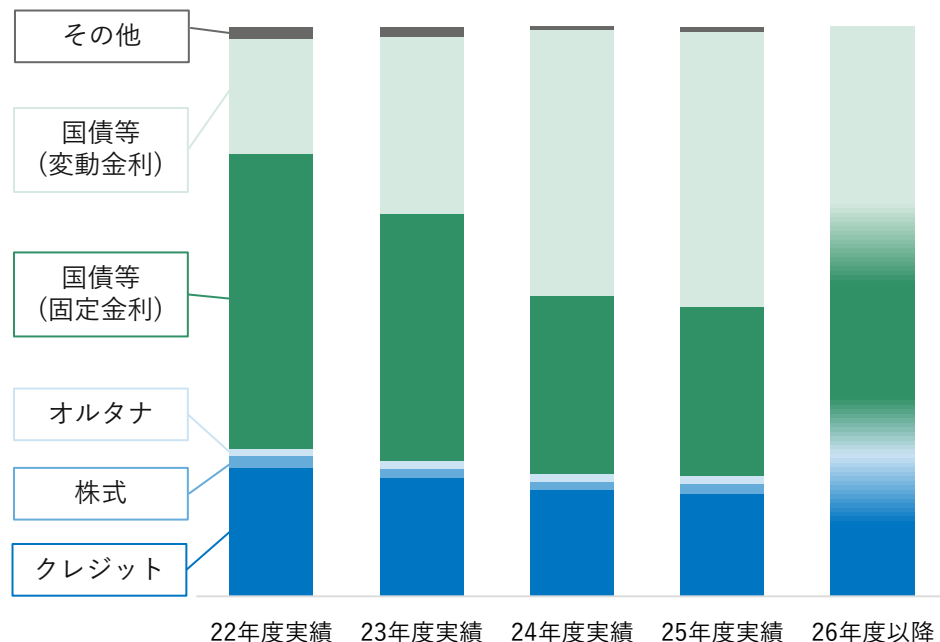
	配置人員数			増減	
	22年度	25年度	26年度	前年度比	22年度比
収益関連部門	296	320	334	+14	+38
うち貸出フロント部門	52	64	73	+9	+21

- 金利リスク耐性を意識した有価証券ポートフォリオ運営を行うとともに、将来的な収益の柱とすべく、オルタナティブ投資への取組みを強化

有価証券ポートフォリオ

- ・金利上昇局面において、変動金利資産中心のポートフォリオ運営を行うとともに、2025年度は、将来収支の改善を目的として、約290億円の売却損を計上し、低利回り資産を圧縮
- ・金融政策の先行きを踏まえ、段階的に固定金利資産の復元を進めつつ、ポートフォリオ全体の分散効果を意識し、株式等のリスク性資産を積上げ

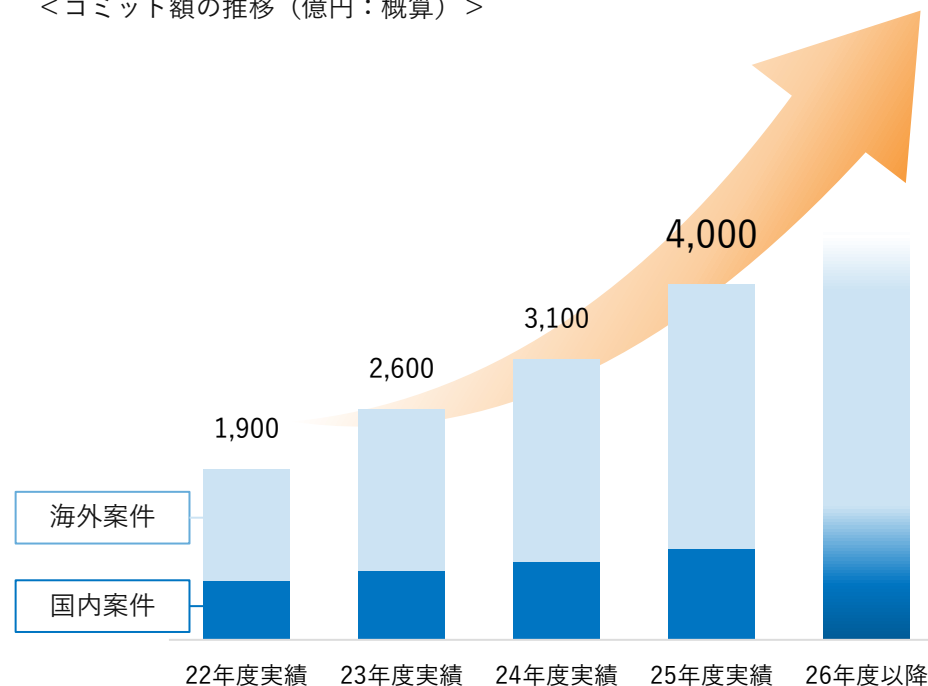
<運用資産残高構成比の推移>



オルタナティブ投資

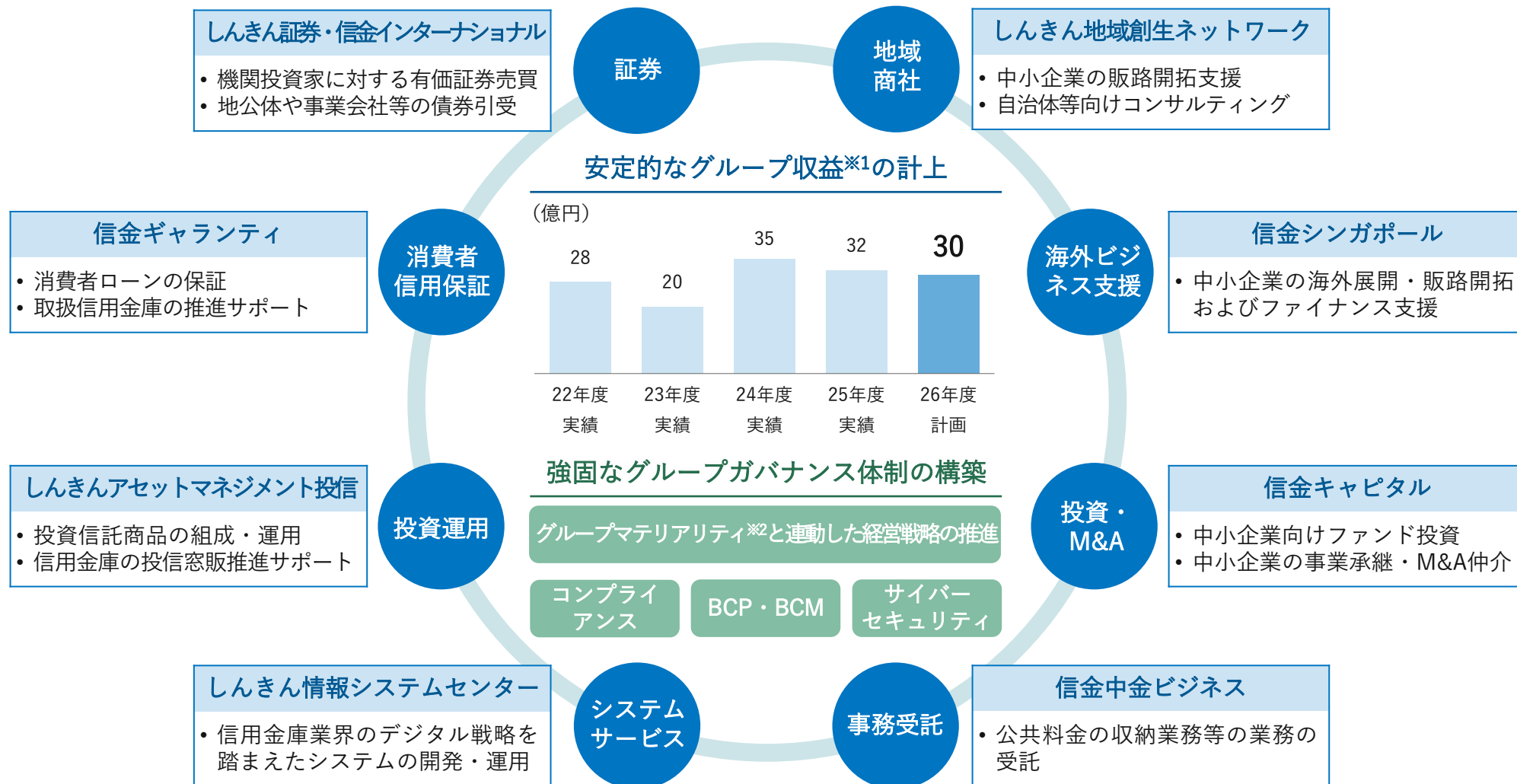
- ・海外案件を中心に、超過リターン確保のためのビンテージ分散を図り、コミット額は着実に伸長
- ・運用体制の強化・充実に努め、優れた組織・戦略・実績を有する優良ファンドを厳選し、投資規模を拡大

<コミット額の推移（億円：概算）>



収益基盤・財務基盤の強化・拡充（グループ会社）

- 強固なグループガバナンス体制のもと、信金中金グループ9社による質の高いソリューション提供を通じて、安定的に収益を計上



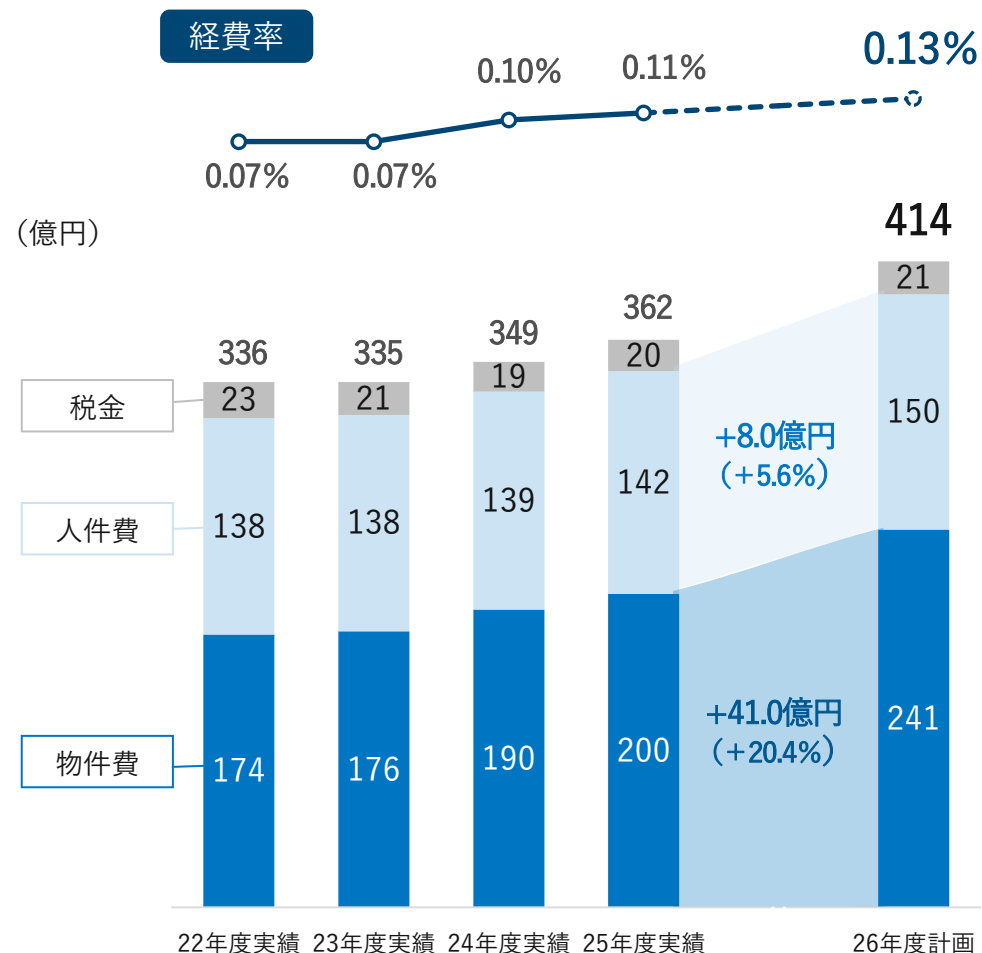
※1 経常利益ベースの連単差（信金中金において計上したグループ会社からの一過性の収益は控除）

※2 信金中金グループが優先して取り組むべき7項目の重要な社会課題

収益基盤・財務基盤の強化・拡充（経費）

- 規律ある支出を前提として、グループ機能の強化に資する人財・デジタル関連等への投資を積極的に実施

経費の推移（単体）



人件費および物件費の増減内訳

持続的成長を加速させるための投資

人財投資：+9.3億円

- ・ 多様な人財活躍と能力発揮を促進するための投資
- ・ グループの柱となる人財採用・育成のための投資

デジタル関連投資等：+6.9億円

- ・ グローバル投融資機能を強化するための投資
- ・ 中央金融機関機能を強化するための投資
- ・ グループ機能を強化するための投資

インフラコスト等：+32.9億円

- ・ 安定的な業務・システム運営のための計画的支出
- ・ 物価上昇等に伴う外部委託費や施設維持関連費用等

戦略的投資「成長戦略投資」

- 信金中金グループおよび信用金庫業界の持続的成長を加速するための戦略的投資「成長戦略投資」を推進
- 外部成長を戦略的に取り込み、新たな収益源の創出と事業基盤の強化・拡充を両立

成長戦略投資が重視する2つの価値



推進体制

- ・ 継続的かつ戦略的な推進を目的として2026年4月に専担チームを設置
 - ・ 100億円を当面の投資枠とし、当初はファンド投資中心の取組みを想定
- 進捗に応じて投資規模や投資手法の拡大も検討

成長戦略投資の基本方針

- 1 信金中金グループ・信用金庫において期待する事業シナジーにもとづき、投資セクターを選定
(例) AI、フィンテック、ディープテック等
- 2 財務リターン獲得と事業シナジー創出の両立が見込める案件に投資
- 3 信金中金グループにおける事業領域の強化・拡大を通じて、社会インパクトの創出を目指す

信金中金グループおよび信用金庫業界の持続的成長を加速

- 信金中金グループおよび信用金庫業界の持続的成長を加速するためのDX・AI戦略を推進
- 生成AI等を戦略的に活用し、業務効率化・生産性向上にとどまらず、業務運営プロセスの革新を目指す

信金中金グループにおけるデジタル・AIドリブンな業務運営

「攻め」のデジタル・AI活用

- ・ デジタル・AIを活用した経営コンサルティング等の課題解決機能の強化・拡充
- ・ 生成AI等を活用した業務運営プロセスの革新

「守り」のデジタル・AI活用

- ・ クラウドを活用した堅牢かつ柔軟なデジタル基盤の構築
- ・ 業務システムとの連携による業務効率化・生産性向上



推進体制

- ・ DX・AI利活用の促進を一層強化するため、2026年4月に専担チームを設置
- ・ RAGチャットボットの導入を皮切りにグループ横断的なDXを加速



信用金庫業界における業務の生産性向上と顧客・地域に対する付加価値の高い金融サービスの提供を実現

デジタル・AIドリブンな業務運営を通じたナレッジの蓄積・共有



- ・ 業務運営プロセスへのAIの組込
- ・ グループ全役職員のAI人材化※
- ・ AIガバナンスの高度化

※ AI人材：AI等を活用し、新たな価値を創出する人材

中期経営計画『SCB戦略2025』の概要

2030年までに目指す姿

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

私たちの目指す
“1つの金融グループ”

<目指す姿への共感・共鳴に向けたアプローチ>

私たちの想い

私たちの取り組む
社会課題

中期経営計画『SCB戦略2025』 <計画期間> 2025年度～2027年度



戦略1
信用金庫の経営基盤の強化



戦略2
地域の持続可能性の向上



戦略3
信金中金の成長



協同組織金融機関の特性を
踏まえたガバナンス改革

大切にする取組姿勢「トライ＆ラーンの実践」

中期経営計画の
詳細はこちら



コンセプトムービーは
こちら



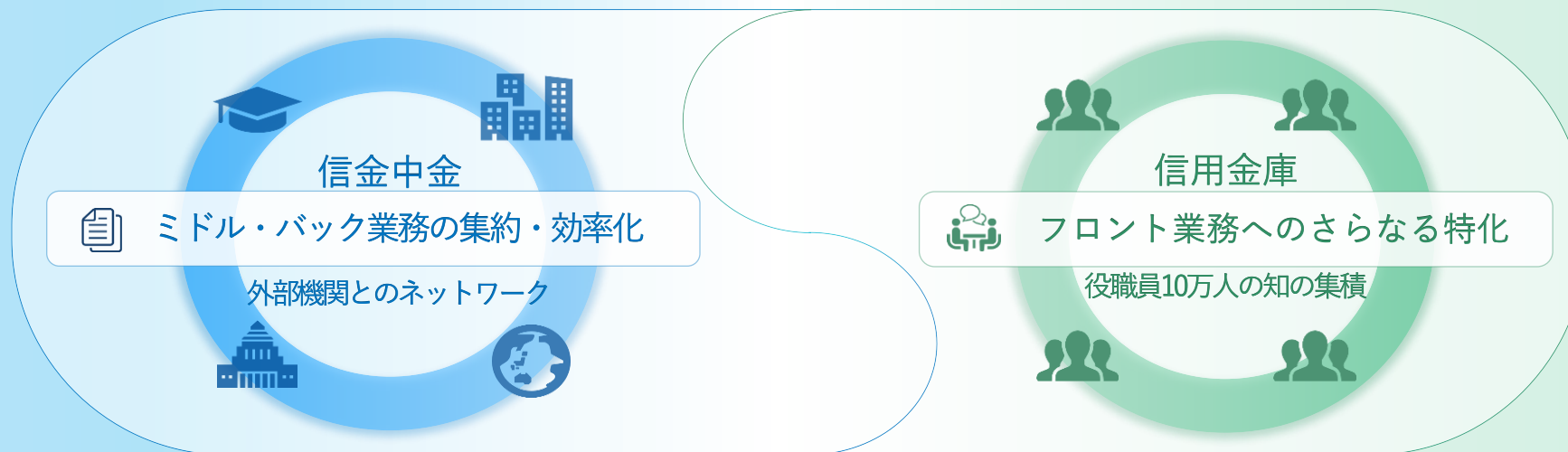
私たちの目指す“1つの金融グループ”

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

地域のステークホルダー（中小企業、個人、地方自治体等）

“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開

- ▶ Face to Face（地域密着・親しみやすさ）
- ▶ 顧客本位（相互扶助・非営利）
- ▶ 機動性・柔軟性



業界団体等と連携した様々な取組みにより、“信用金庫らしさ”を発揮できる有機的な業務運営基盤を構築

共同化

DX・
デジタル化

知の共有

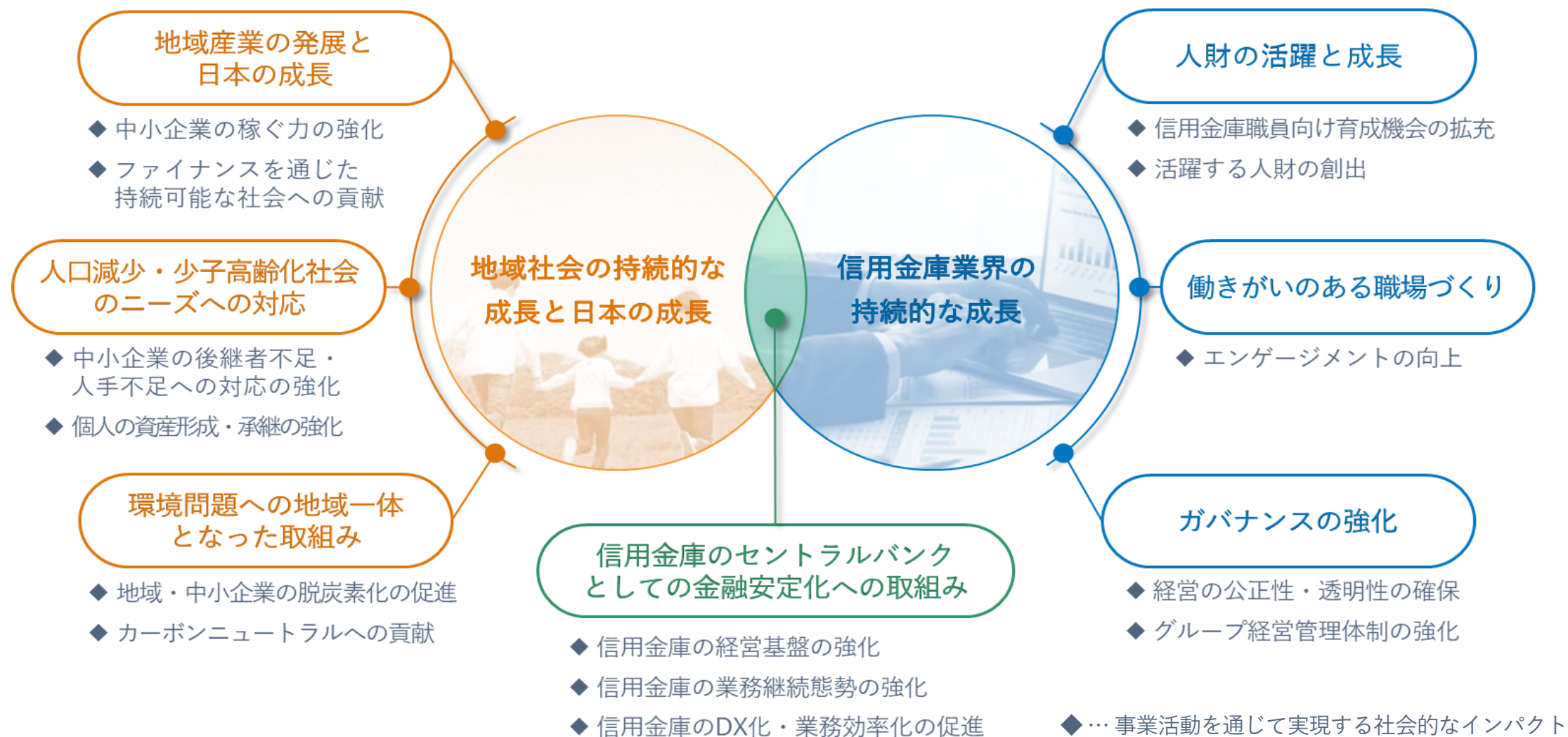
経営
コンサルティング

人財育成

商品・
サービス提供

私たちの取り組む社会課題

信金中金グループの重要な社会課題（マテリアリティ）を以下の7項目とし
事業活動を通じて社会的なインパクトを実現する



ストラテジー 1 信用金庫の経営基盤の強化

<< 環境・課題認識 >>

- “金利ある世界”の到来
- 雇用市場の流動化
- 中小企業の廃業・倒産の増加
- 顧客ニーズの多様化・高度化
- ネット銀行等との競合激化
- 信用金庫の預貸金の伸び悩み 等

考え方

- 地域の持続的な成長を支えていくためには、地域金融を担う信用金庫が、より強固で盤石な経営基盤（財務・収益・人財）を構築していく必要がある。
- 信金中金は、業界団体等と連携し、“信用金庫らしさ”を発揮できる生産性の高い業務運営基盤を構築するとともに、個々の信用金庫の特性を踏まえたきめ細かな経営コンサルティング活動と信用金庫役職員の人財育成を通じて、グループ一体となって信用金庫の経営基盤を強化する。

<< ありたい未来 >>

- 信用金庫が、強みである“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開し、課題解決を通じて、地域において最も信頼される金融機関として高い存在感を発揮している未来

主要な取組み

信用金庫経営を支える
コンサルティングの強化



信用金庫の生産性の高い
業務運営基盤の構築



信用金庫の
人財育成の強化



～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

信用金庫経営を支える コンサルティングの強化



- 資金運用・市場リスク管理、信用リスク管理、人事戦略に関するコンサルティング機能の強化
- 収益機会拡充に向けた商品・サービスの提供
- コンサルティング推進態勢の強化

信用金庫の生産性の高い 業務運営基盤の構築



- 人事、総務、証券決済、相続等の新たなミドル・バック業務の共同化・集約化
- 各信用金庫が有する知見等の共有機会の拡充
- 業界データを活用した効果的な業務運営支援

信用金庫の 人財育成の強化



- 信用金庫役職員に対する実務研修機会の拡充
- 信用金庫職員の自律的なキャリア形成に向けたSelsの機能強化
- 信用金庫の業務改革を担うDX人財の育成

<< 環境・課題認識 >>

- 人口減少・少子高齢化
- 自然災害の多発化・激甚化
- 地域間格差の拡大
- 中小企業の経営悪化（人手不足、原材料高、デジタル化の遅れ等）
- 個人の資産形成ニーズの拡大 等

考え方

- レジリエント（強靱）で持続可能な地域を築いていくためには、信用金庫業界が有する国内外に広がるネットワークを活用し、多様化・複雑化する中小企業・個人・地域の課題を着実に解決していく必要がある。
- 信金中金は、商品・サービスの利活用促進に向けた信用金庫に対するサポートを強化するとともに、外部専門機関と連携した業界として適正対価を受領できる良質な商品・サービスの提供を通じて、地域の課題を解決し、社会的なインパクトを実現する。

<< ありたい未来 >>

- 地域のステークホルダーとともに、信用金庫が課題解決のハブとなり、地域固有の産業や文化・伝統の継承と新たな価値や魅力の創出が実現する、レジリエントで持続可能な地域が築かれている未来

主要な取組み

個人の課題解決
サポートの強化



中小企業の課題解決
サポートの強化



地域の課題解決
サポートの強化



～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

個人の課題解決 サポートの強化



- しんきんDBや預かり資産ナビ等を活用した効果的・効率的な業務推進支援の強化

中小企業の課題解決 サポートの強化



- 人手不足の課題解決やDX促進に向けた商品・サービスの強化
- 信用金庫のニーズを踏まえた海外拠点網の拡充
- 創業や成長に関する支援の強化

地域の課題解決 サポートの強化



- 自然災害や人口減少に対応した地域づくりへの取組みの強化
- 地域や中小企業の省エネ化・脱炭素化の推進

<< 環境・課題認識 >>

- 国内外の金融政策の転換
- 地政学リスクの高まり
- 信用金庫のニーズの多様化・高度化
- 信金中金における専門的かつ多様な人財の育成・確保
- 信金中金の業務範囲の拡大 等

考え方

- 信用金庫の中央金融機関としての役割・機能を持続的かつ安定的に発揮していくためには、信金中金がこれまで以上に「成長」していく必要がある。
- 信金中金は、協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革を「成長」のドライバーとし、人財戦略の強化、収益・財務基盤の強化・拡充、生産性の高い業務運営態勢の構築に取り組み、信金中金の「成長」を加速させる。

<< ありたい未来 >>

- 誇りと使命感にあふれた多様な人財の活躍によって、強固な収益・財務基盤、安定的な業務・システム運営を実現し、信金中金が業界内外から高い信頼と評価を獲得し、持続的に成長している未来

主要な取組み

収益基盤・財務基盤の
強化・拡充

人財戦略の強化

生産性の高い
業務運営態勢の構築

協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革
事業ポートフォリオ・人的資本経営・RAF・グループガバナンス

～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

収益基盤・財務基盤の 強化・拡充



- ・機動的なALM運営と金利リスク耐性を意識した投融資ポートフォリオの構築
- ・サステナブルファイナンスの拡充

人財戦略の強化



- ・ベーススキルの明確化・能力開発機会の拡充および多様な人財が活躍するための態勢整備
- ・信金中金の柱となる分野の専門人財の育成強化

生産性の高い 業務運営態勢の構築



- ・生成AIのさらなる活用
- ・業務改善・スクラップを通じた業務の効率化および中長期目線でのシステム戦略の見直し

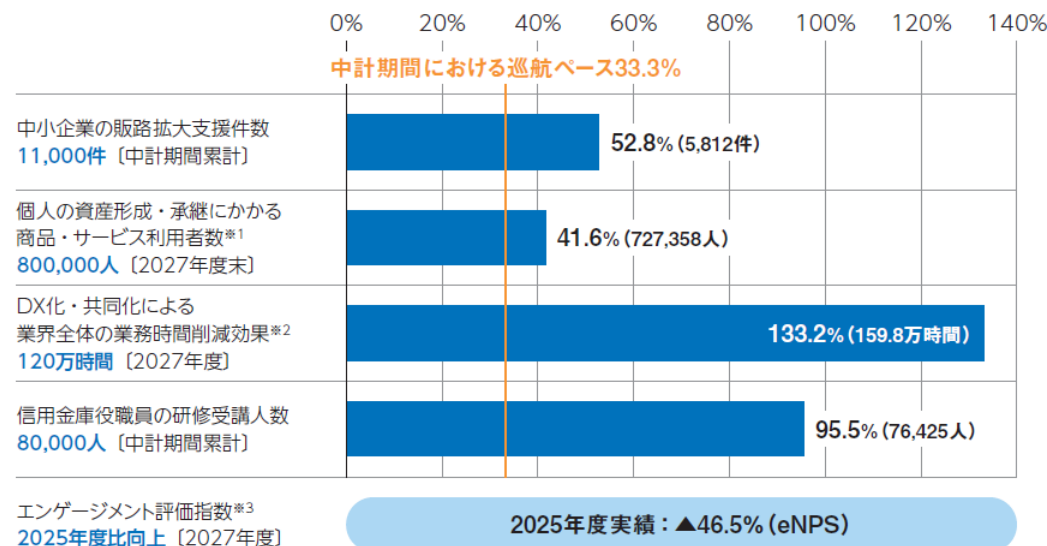
重要な社会課題（マテリアリティ）

インパクト

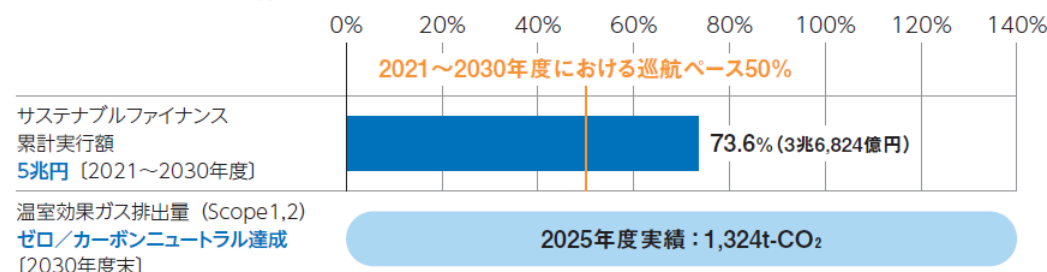
地域産業の発展と日本の成長	● 中小企業の稼ぐ力の強化 ● ファイナンスを通じた持続可能な社会への貢献
人口減少・少子高齢化社会のニーズへの対応	● 中小企業の後継者不足・人手不足への対応の強化 ● 個人の資産形成・承継の強化
環境問題への地域一体となった取り組み	● 地域・中小企業の脱炭素化の促進 ● カーボンニュートラルへの貢献
信用金庫のセントラルバンクとしての金融安定化への取り組み	● 信用金庫の経営基盤の強化 ● 信用金庫の業務継続態勢の強化 ● 信用金庫のDX化・業務効率化の促進
人財の活躍と成長	● 信用金庫職員向け育成機会の拡充 ● 活躍する人財の創出
働きがいのある職場づくり	● エンゲージメントの向上
ガバナンスの強化	● 経営の公正性・透明性の確保 ● グループ経営管理体制の強化

非財務目標（代表的なKPI）の進捗率・実績

■ 中計期間の目標



■ 2030年度までの目標



※1 KPIは2027年度末の利用者数であるため、表上の数値は参考値

進捗率：(2025年度末実績-2024年度末実績)／(目標-2024年度末実績)

※2 KPIは2027年度の業務時間削減効果であるため、表上の数値は参考値

※3 eNPS：従業員が評価した「自社で働く推奨度」(0～10点)を用いて、「推奨者(9～10点)数の割合-批判者(0～6点)数の割合」により算出

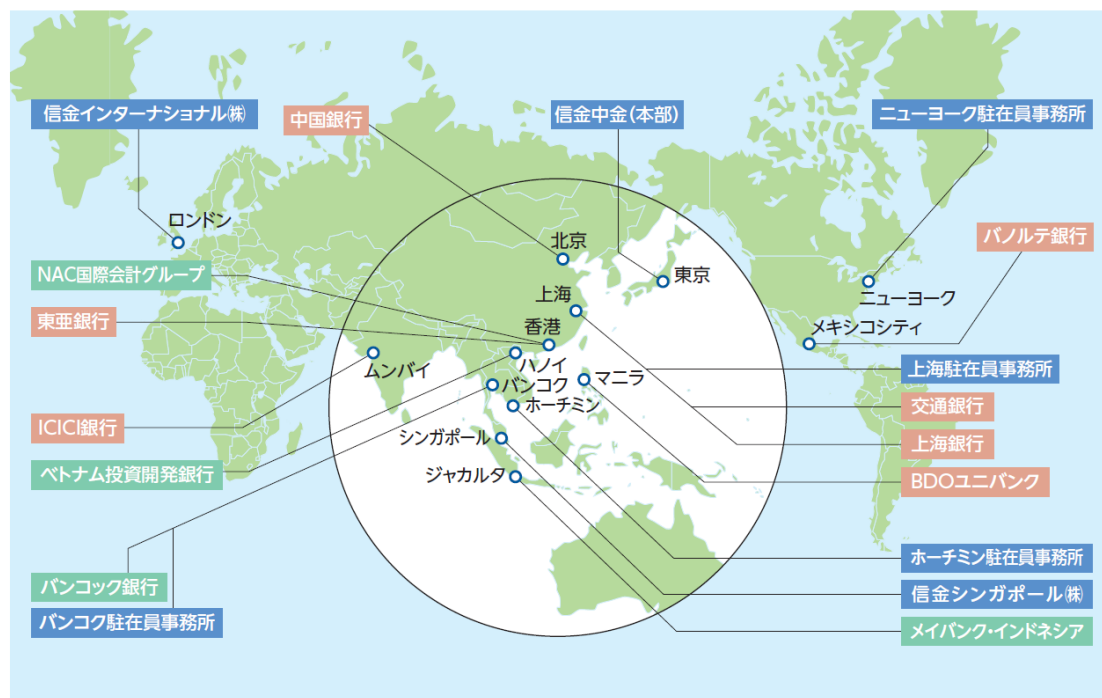
4. よくいただくご質問

Q. グループ会社の業務内容・海外展開支援について

よくいただくご質問 ～信金中金グループのネットワーク～

- ◆ 信金中金は海外に6拠点を設け、経済・金融情勢や投融資環境をはじめとした現地情報を収集・発信するほか、現地銀行と連携し、信用金庫取引先の海外進出などを支援
- ◆ グループ会社9社と一体となって、信用金庫および取引先の業務・経営に関するコンサルティングや多様なニーズに対応できる態勢を構築

海外拠点と業務提携銀行



■ = 信金中金グループの拠点 ■ = 業務提携先(職員派遣先) ■ = 業務提携先

2026年7月1日時点

グループ会社

証券業務

しんきん証券(株)
信金インターナショナル(株)

事務処理の受託業務等

信金中金ビジネス(株)

データ処理の受託業務等

(株)しんきん情報システム
センター(略称:SSC)

投資業務・M&A仲介業務

信金キャピタル(株)

地域商社業務

しんきん地域創生
ネットワーク(株)

海外ビジネス支援業務

信金シンガポール(株)

消費者信用保証業務

信金ギャランティ(株)

投資運用業務

しんきんアセット
マネジメント投信(株)



よくいただくご質問 ～海外進出企業支援～

- ◆ 海外展示会での商談サポートやビジネスマッチングイベントの開催
- ◆ 26年5月ホーチミン事務所を開設。ハノイ・ホーチミンの南北で信用金庫取引先をサポート

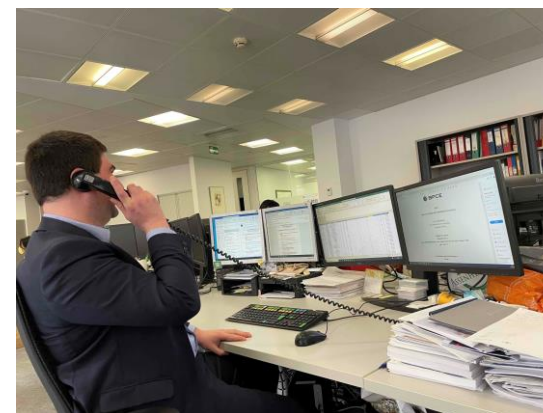
シンガポールで商談サポート



ホーチミン事務所の開設



ロンドンでの債券引受・販売



バンコクでの展示会出展



信用金庫役職員の米州視察サポート



上海信金会の開催

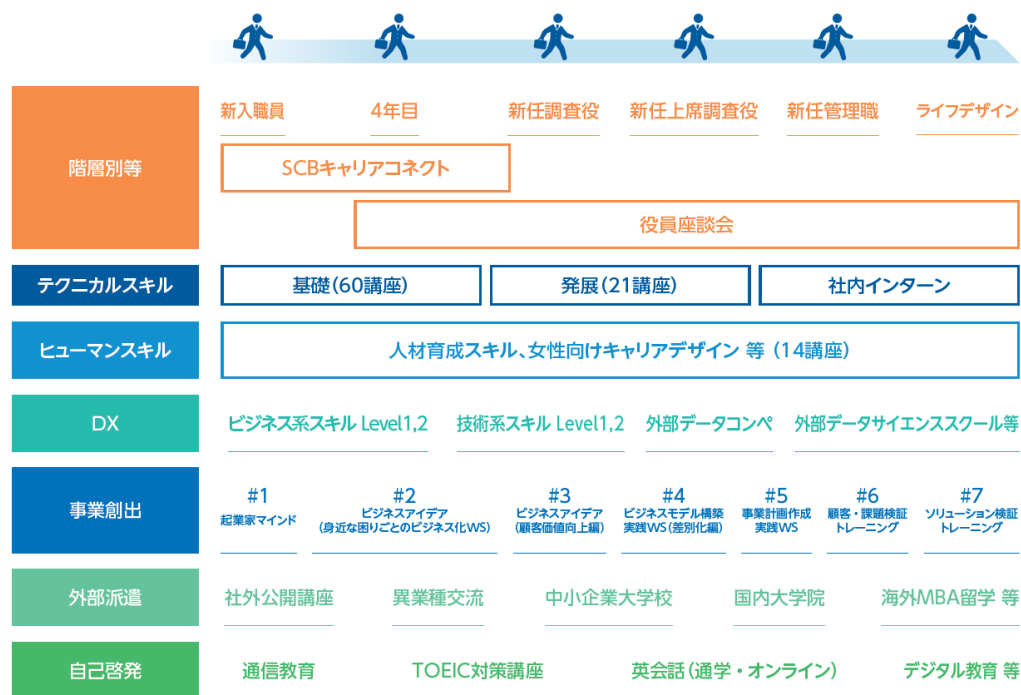


Q. 人財戦略への取組みについて

よくいただくご質問 ～ 人財戦略について ～

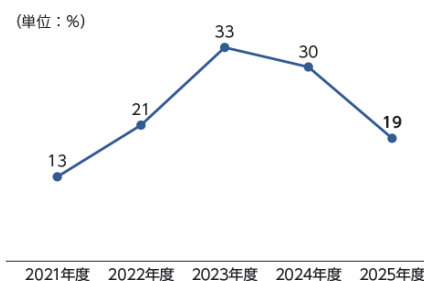
- ◆ 企業内大学「SCBユニバーシティ」では、金融の基礎知識から実践スキルまで100以上の豊富な研修メニューを提供しており、幅広い業務フィールドで活躍できる人材を体系的に育成
- ◆ 多様な人材が能力を遺憾なく発揮できるよう、各種制度や施策に積極的に取り組んでおり、キャリア採用の比率や、女性役職者比率も一定の割合を維持

SCBユニバーシティの体系図

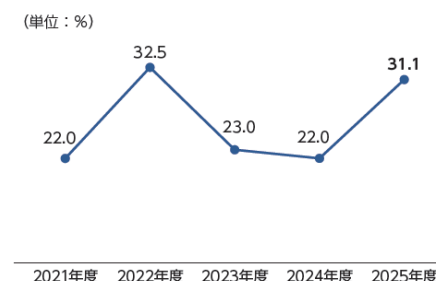


人事関連データ

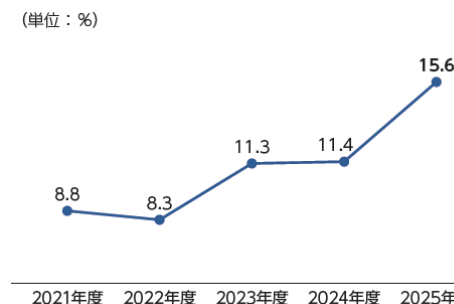
キャリア採用比率 ※1



総合職新卒採用者に占める女性の割合



女性役職者比率 ※2



※1 採用した正規雇用労働者のキャリア採用比率

※2 係長級にある者に占める女性労働者の割合を算出

Q. サステナビリティへの取組みについて

よくいただくご質問 ～サステナブル経営実現に向けて～

- ◆ 信金中金グループは、サステナブルファイナンスの中長期目標額を累計5兆円に引き上げ、気候変動対応をはじめとした環境・社会課題の解決に資するファイナンスに一層注力
- ◆ 脱炭素化支援機構および信金キャピタルと連携し、地域の脱炭素化事業を支援する「しんきん脱炭素応援ファンド」（総額20億円）を組成。2025年度末時点での投資決定額は917百万円、投資決定件数は15件と、順調に組入れが進行

サステナブルファイナンスの強化

サステナブルファイナンスの中長期目標額：累計5兆円
(2021年度から2030年度までの実行額)

対象とするESG関連のファイナンス

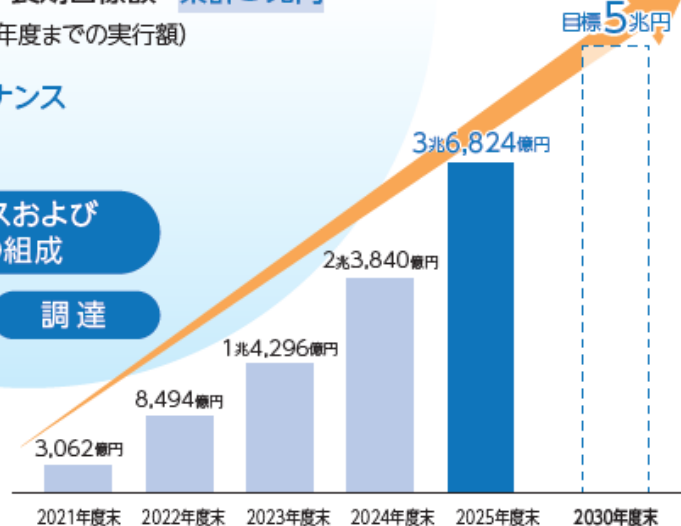
投融資

プロジェクトファイナンスおよび
シンジケートローンの組成

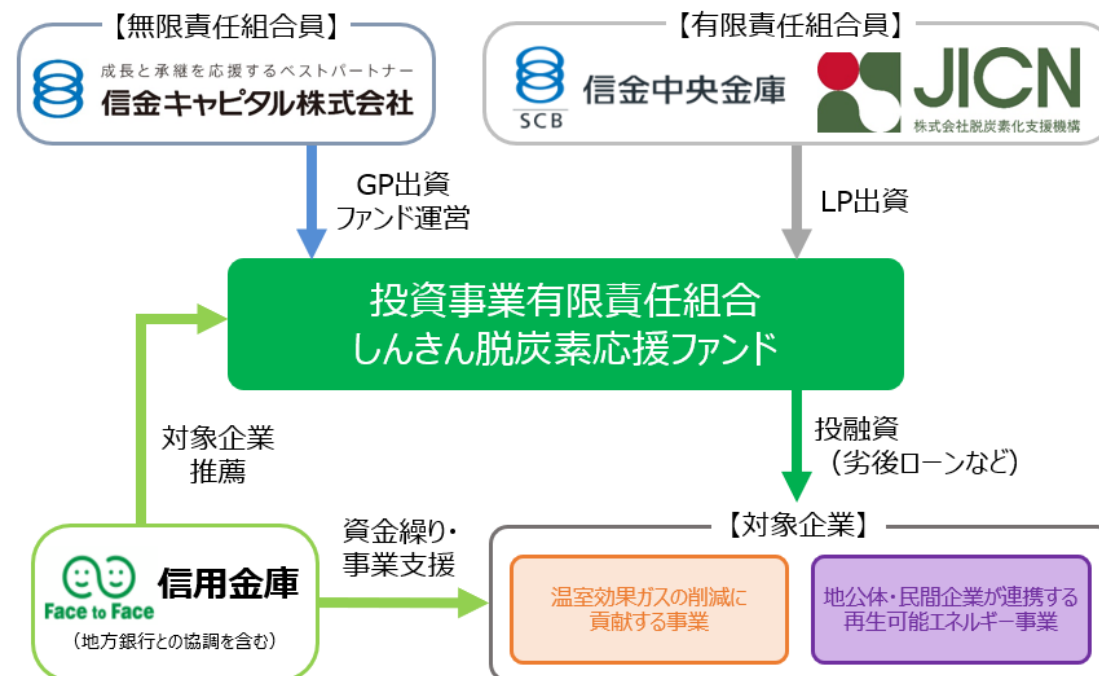
債券の引受

ファンドの組成

調達



「しんきん脱炭素応援ファンド」の組成

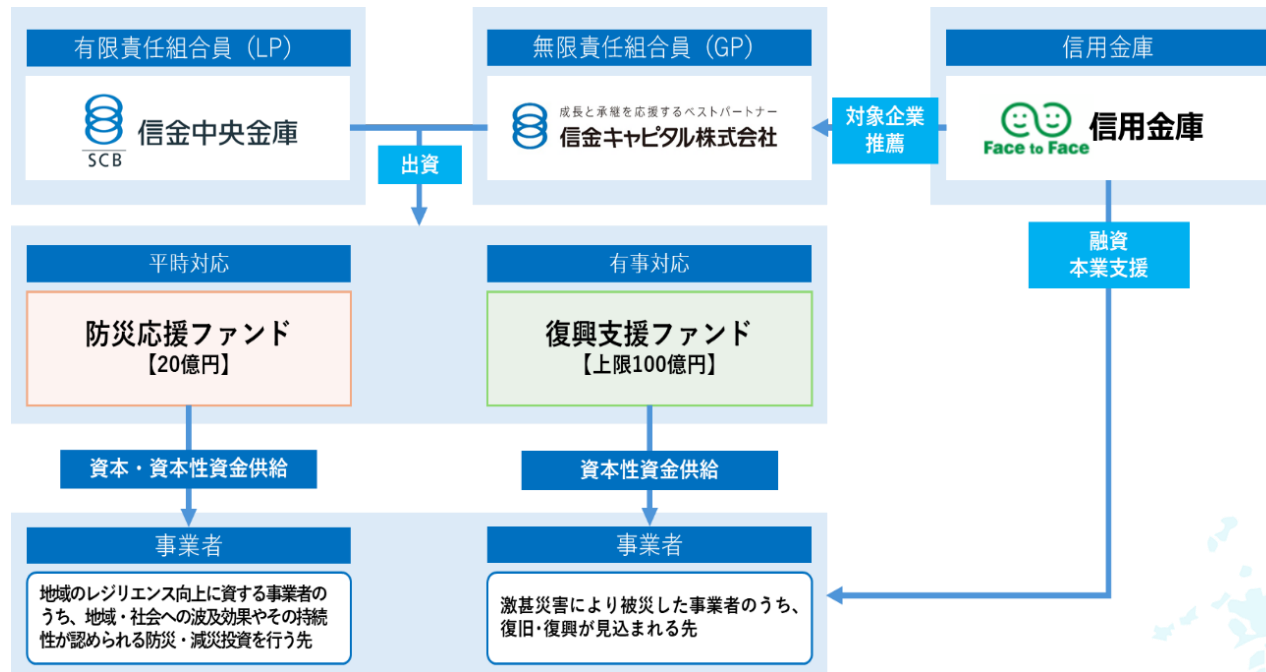


Q.自然災害等に関する地域の持続可能性の向上について

よくいただくご質問 ～自然災害等に関する地域の持続可能性～

- ◆ 信金キャピタル株式会社と連携し、「しんきん防災応援ファンド」（出資総額20億円）および「しんきん復興支援ファンド」（上限額100億円）を組成
- ◆ 本ファンドを通じて、激甚災害への備えと復旧・復興支援の両面から、レジリエントな地域づくりへの取組みを推進

しんきん防災応援ファンド、しんきん復興支援ファンドの設立



信用金庫業界の存在感を発揮し
レジリエントな地域づくりに貢献



Appendix

統合報告書2026



【URL】 [信金中央金庫 統合報告書 2026](#)

個人投資家向けWEBサイト



【URL】 [信金中央金庫 投資家の皆さまへ](#)



- 本資料は、信金中金の事業内容および業績に関する情報の提供を目的としたものであり、信金中金の優先出資への投資を勧誘するものではありません。
- また、本資料は信金中金が信頼できると判断した情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。
- なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

<お問い合わせ先>
信金中央金庫
総合企画部 IR広報室
電話：03（5202）7700
URL：<https://www.shinkin-central-bank.jp/>